



Infor LN 企業計画 オーダ計画 ユーザガイド

重要事項

本書に含まれる資料（あらゆる補足情報を含む）は、Inforの機密及び専有情報に相当し、かつそれを含むものです。

添付を使用するにあたり、使用者は、当該資料（当該資料のあらゆる修正、翻訳または翻案を含む）、すべての著作権、企業秘密、及びそれに関係するすべてのその他権利、権原及び利益はInforが独占所有するものであり、使用者には、別の契約（この別契約の契約条項によって、貴社の当該資料及びすべての関連する補足情報の使用が規定されます）に基づいてInforより貴社に使用許諾されたソフトウェアに関連し、またその使用を促進することのみを目的（以下、「目的」という）として、当該資料を使用するための非独占的権利以外、使用者の閲覧に基づく権利、権原及び利益（すべての修正、翻訳または翻案を含む）は付与されるものではないことを認識し、それに同意するものとします。

更に、同封の資料を使用するにあたり、使用者は、使用者が当該資料を極秘扱いで保管しなければならないこと、そして使用者の当該資料の使用は上述の「目的」に限定されることを認識し、それに同意するものとします。Inforは、本書に含まれる内容に誤りや洩れがないよう細心の注意を払っていますが、本書に含まれる内容が完全なもので、誤植やその他の誤りがなく、使用者の個別の要望を満たすことは保証しません。したがって、Inforは、本書（あらゆる補足情報を含む）の誤りまたは不備により、またはそれに関連して生じたあらゆる個人または団体に対する、あらゆる間接的または直接的損失または損害について、その誤りまたは不備が過失、事故またはその他の理由によるものであるかどうかにかかわらず、一切の責任を負わず、かつそれを放棄するものとします。

使用者の本資料の使用は、米国輸出管理法及びその他に限定しない輸出入の適用法に準拠するものとし、使用者は、本資料及びあらゆる関係資料または補足情報を当該法律に違反して、直接的または間接的に輸出または再輸出してはならず、またこれらの資料を当該法律により禁止されるいかなる目的にも使用してはなりません。

商標確認

ここに示す文字標章及び図形標章は、Infor及び/またはその関連会社ならびに子会社の商標または登録商標、あるいはその両方です。無断複製・転載を禁ず。参照されるすべての他の社名、製品名、商標名またはサービス名は各所有者の登録商標または商標です。

発行情報

文書コード	cpordplanug (U8732)
リリース	10.5.1 (10.5.1)
発行日	2017 年 12 月 19 日

目次

文書情報

第1章 オーダ計画のコンセプト.....	7
概要および基本コンセプト.....	7
品目データ構造.....	7
シナリオ.....	8
一般品目データ.....	9
企業計画でのクラスタ.....	9
品目 - オーダ処理 (tcibd2100m000).....	11
クラスタ化品目と非クラスタ化品目.....	11
品目購買データ.....	12
品目グループの品目購買データとデフォルト品目購買データの指定.....	12
購買品目 360.....	13
品目 - 購買取引先データの指定.....	13
発注先 360.....	13
ソーシング.....	14
承認済発注先リスト.....	14
品目構造.....	14
部品表 (tibom1110m000).....	14
品目 - 工順 (tirou1101m000).....	15
部品表ライン - 資材-工順関係 (tibom0140m000).....	15
供給チェーンモデリング.....	16
供給関係 (cprpd7130m000).....	16
供給チェーン戦略.....	18
ソーシング戦略.....	18
3 種類の供給ソース.....	19
デフォルト供給ソース.....	19
ソーシング戦略.....	19
ソーシング戦略の定義.....	21
供給元: 製造、購買、または物流.....	21
3 種類の供給ソース.....	22
デフォルト供給ソース.....	22

ソーシング戦略.....	23
関連セッションとフィールド.....	23
クラスタ化品目の供給ソース.....	24
物流.....	24
購買.....	24
製造.....	24
マルチソーシング.....	25
外部発注先を選択するには.....	25
有効化構成.....	25
発注先が納入できない場合.....	25
付録A 用語集.....	27
索引	

文書情報

この文書では、計画オーダの形式で計画データを管理するための手順を説明します。オーダ計画を使用するためのオプション、手順と条件を詳しく説明します。

本書の概要

企業計画は、オーダ計画とマスタ計画の2種類の計画プロセスをサポートしています。本書では、設定およびこのタイプの計画に適用される基本コンセプトについて説明します。

本書の使い方

本書はオンラインヘルプトピックから編纂されたものです。したがって、本書では他のセクションへの参照を以下のように表記しています。

詳細については、「シナリオ」を参照してください。参照セクションの場所を見つけるには、「目次」を参照するか、巻末の「索引」を利用してください。

下線付の用語は、用語集に載っているその用語の定義にリンクしていることを示しています。本書をオンラインで表示している場合は、下線付の用語をクリックすることで、巻末の用語集に載っているその用語の定義に移動できます。

コメント

弊社は常に文書の見直しや改善を行っていますが、この文書に関するご意見、ご要望などありましたら、documentation@infor.com にご連絡ください。

送信の際には文書番号およびタイトルを明記してください。情報が具体的であるほど迅速な対応が可能です。

Infor へのお問い合わせ

Infor 製品に関するお問い合わせは、Infor Xtreme Support ポータル www.infor.com/inforxtreme をご利用ください。

製品リリースに関する更新情報は、この Web サイトに掲載いたします。このサイトを定期的にご確認ください。

Infor ドキュメントに関するご質問・ご意見は、documentation@infor.com までご連絡くださいますようお願いいたします。

第1章 オーダー計画のコンセプト

1

概要および基本コンセプト

LNの計画ロジックは、既存の入庫量、供給量、在庫量を考慮に入れながら要求と需要のバランスをとるメカニズムを実現するものです。計画では、以下のような様々な供給を生成することで需要を満たします。

- 計画製造オーダー (品目を製造するためのオーダー)
- 計画物流オーダー (他のサイトから品目を入手するためのオーダー)
- 計画購買オーダー (品目を購入するためのオーダー)

以下のデータを指定することで計画システムをセットアップできます。

- シナリオ
オーダーに複数のシナリオを指定して、複数の計画戦略を比較できます。
- 一般品目データ
各種品目を指定できます。
- クラスと計画品目
倉庫、製造サイト、発注先のそれぞれに異なる計画品目特徴を指定できます。

品目データ構造

様々な発注先でさらに品目を区別できます。

- 場所 (倉庫)
- 目的 (計画、購買)
- 発生元 (発注先、倉庫)

例

1つの品目が2つの異なる発注先から供給されます。

発注先 A は、その品目のパッキングにしたがい、100 個単位のロットで出荷します。

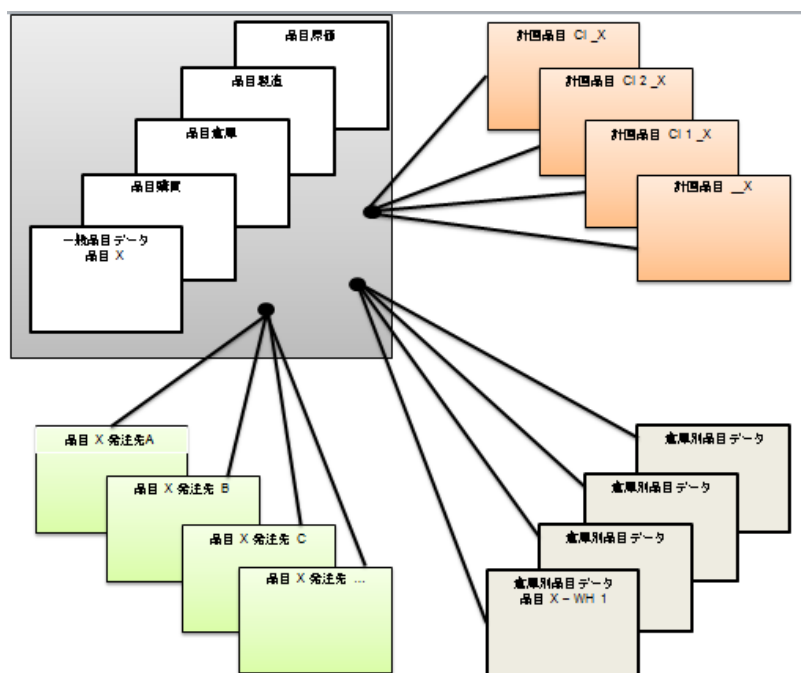
発注先 B は 60 個単位で商品を出荷します。

発注先ごとに異なるパラメータを定義できます。

これらの特徴は以下のセッションで定義できます。

- 品目 - 計画 (cprpd1100m000)
- 倉庫別品目データのチェック (whwmd2210m000)
- 品目発注先計画 (cpvmi0530m000)

これらのセッションは、一般品目データに n 対 1 の関係を持つエンティティを定義します。



品目データ構造

シナリオ

それぞれ異なる計画パラメータを持つ複数のシナリオを定義できます。シナリオは、シナリオ依存パラメータ設定にしたがって計画される一連の計画オーダに適用されます。シナリオを使用して、様々な状況のシミュレーションを行うことができます。

オーダ生成後に計画オーダをマニュアルで変更できます。この場合、生成された計画に照らし合わせて計画活動の影響を見ることができます。

以下の設定はシナリオに依存します。

- マスタ計画の [計画期間の定義]
- 総計関係 (cprpd3110m000)
- [供給戦略] および [ソーシング戦略]

計画者はシナリオに依存する供給チェーン戦略とソーシング戦略を立てることで、購買量を増やして製造量を減らすべきなのか、あるいは需要を満たす別の方法を選択すべきなのかを評価できます。

計画者は供給ソースのバランスをとり、能力利用率や資材要件などの選択から生じる結果を評価できます。

例

[実際シナリオ] として定義するシナリオを指定する必要があります。実際シナリオとは、計画とオーダーが実際に実行されるシナリオをいいます。

実行レベルに転送できるのは実際シナリオからのオーダーだけです。販売管理で実行できる有効在庫チェックも実際シナリオに基づいています。

実際シナリオは、計画パラメータ (cprpd0100m000) セッションの [実際シナリオ] フィールドを使用して指定します。

一般品目データ

企業計画は計画品目ごとに計画します。各計画品目は、その一般プロパティに関連する一般品目定義から導出します。

企業計画でのクラスタ

企業計画はクラスタを使用して、予測、販売、在庫計画、オーダー受入、および会社の (内部) ネットワークを形成するエンティティ内およびエンティティ間での在庫補充といった取引手順をサポートします。クラスタの概念は、適切なエンティティ (倉庫、販売オフィス、物流センター、および製造サイト) で計画を行い、会社内の商品フローを考慮する方法を LN に提供します。

クラスタの概念

クラスタは、特定の地理的エリア内の倉庫のグループです。企業計画は各クラスタに対して品目を計画するので、各品目に対して複数の計画品目、すなわち非クラスタ化品目と関連するクラスタ化品目を作成できます。非クラスタ化品目と異なるただ 1 つの点は、クラスタ化品目にはクラスタリンクがあることです。計画品目が物理的に保管されたり、出庫されたり、あるいは入庫するエンティティは、特定の倉庫グループ、すなわちクラスタに属します。

クラスタの概念の特徴の 1 つは、クラスタ化品目と非クラスタ化品目との間に供給関係を設定できることです。この関係によって、企業計画が物流所要量計画 (DRP) を実行するために持たなくてはならない必須のネットワークを構築できるので、このことは重要です。クラスタ化品目から非クラスタ化品目でも、すべての方向に物流関係を設定できます。

予測、販売オーダー入力、および販売オーダー受入をクラスタ化品目のレベルで実行するために、LN はクラスタ化品目のマスタ計画もサポートします。これは、予測方法、在庫計画、有効在庫 (ATP) および総計/分散機能を使用できることを意味します。クラスタ化計画品目に対してマスタ計画を使用することで、たとえば、中央オフィスと地方の物流センター、あるいは販売オフィスとの間で、予測、計画、およびオーダーを総計/分散することが可能になります。

クラスタを設定するには

クラスタ (tceem1135m000) セッションでクラスタを定義し、倉庫 (tceem1112m000) セッションで倉庫に接続できます。クラスタは、非ネットابل倉庫のみを含むことができます。その 1 つがデフォルト倉庫です。複数の倉庫がある場合、企業計画は常にこのデフォルト倉庫に計画を総計します。非クラスタ化品目の計画をデフォルト倉庫に総計するのと同じです。品目 - 計画 (cprpd1100m000) セッションでデフォルト倉庫を定義できます。計画実行中に、企業計画は自動的に計画品目の在庫および需要をこのデフォルト倉庫に総計します。

クラスタは計画品目コード内のセグメントの 1 つなので、各クラスタ化計画品目について品目 - 計画 (cprpd1100m000) セッションで計画データを定義できます。これは、各クラスタ化計画品目が独自のデフォルト倉庫、供給ソース、マスタ計画およびタイムフェンス設定を持つことを意味します。

クラスタ化計画品目の供給ソースは以下のとおりです。

- 物流
- 購買
- 製造
- 複数ソース

各供給ソースに対してクラスタを使用する方法についての詳細は、関連トピックを参照してください。

複数供給ソース

クラスタ化計画品目に対する別の供給オプションは複数ソースです。ソーシング戦略 (cprpd7110m000) セッションでその設定を定義できます。各クラスタ化品目に対してソーシング戦略を定義できます。

ただし、[物流] ソースについてはクラスタ固有の物流関係のみ設定できます。[購買] および [製造] ソースについては、クラスタ固有の供給情報および部品表 (BOM) および工順を定義できません。製造品目および購買品目の場合、LN は非クラスタ化品目と同じデータを使用してクラスタ化品目を計画します。

クラスタ化品目の有効在庫

LN はクラスタ化品目について、次のタイプの有効在庫 (ATP) をサポートします。

- 標準確約可能在庫
- チャンネル有効在庫
- ファミリ確約可能在庫

クラスタ化品目に構成確約可能在庫チェックおよび確約可能在庫能力チェックを使用するには、制約があります。詳細については、クラスタの構成確約可能在庫と確約可能在庫能力オンラインマニュアルのトピックを参照してください。

クラスタの概念についての詳細は、オンラインマニュアルのトピック「例: クラスタを伴う物流構造」を参照してください。

注意

品目 - 計画 (cprpd1100m000) セッションの適切なメニューで、特定の計画品目にもとづいて (クラスタの範囲に対して)、または特定のクラスタにもとづいて (計画品目の範囲に対して)、クラス

タ化品目の範囲を生成できます。これを行うと、企業計画は関連する計画品目データのコピーも行います。

品目 - オーダ処理 (tcibd2100m000)

クラスタコンセプトにより、複数サイトで一貫した計画を実行できます。クラスタは、1つまたは隣接する複数の倉庫を表します - 通常、特定のサイトまたは国の複数の倉庫を表します。

クラスタと品目コードの組合せごとに計画品目を定義できます。

計画品目コードは以下のセグメントで構成されます。

- クラスタセグメント接頭辞
- 品目コードセグメント

したがって、計画品目は定義されている品目と場所の組合せを表します。

クラスタ化品目と非クラスタ化品目

クラスタセグメントから空の計画品目を定義することもできます。空クラスタは、製造環境のモデリングに使用されます。それ以外のクラスタは、物流所要量計画 (DRP) のための供給チェーン構造のモデリングに使用されます。

計画品目には以下の用語が使用されています。

- クラスタ化品目
クラスタが埋められている計画品目
- 非クラスタ化計画品目
クラスタセグメントが空の計画品目

クラスタが埋められているかどうか関係がない場合は、単に計画品目と記述しています。

クラスタ化品目は、そのクラスタに割当てられているすべての在庫、およびすべての倉庫の計画在庫をグループ化したものです。

非クラスタ化計画品目は、どのクラスタにもリンクされていないすべての在庫、およびすべての倉庫の処理をグループ化したものです。

計画在庫処理を表示するには、計画在庫処理 (whinp1500m000) セッションを使用します。

注意

計画システムは、不合格品用または予備部品用の倉庫など、計画処理から明示的に除外されている倉庫の在庫処理および計画在庫処理を無視します。

計画プロセスから倉庫を除外するには、倉庫 (whwmd2500m000) セッションで [企業計画に含む] チェックボックスをオフにします。

クラスタの例

品目 S-3501 を定義したとします。

以下のクラスタも定義したとします。

- EUR (ヨーロッパ)
- NA (北米)
- JAP (日本)

これで、同じ物理的品目を表す 4 つの計画品目を定義できます。

- EUR S-3501
- NA S-3501
- JAP S-3501
- S-3501

計画エンジンはこれら 4 つの計画品目を 4 つの異なる品目として扱います。システムは計画品目ごとに、予定入庫および出庫、予想在庫レベル、予測需要を個別にメンテナンスします。

計画品目のコンセプトは以下の機能をサポートします。

- MRP (資材所要量計画)
- MPS (マスタ計画スケジュール)
- PRP (プロジェクト所要量計画)
- DRP (物流所要量計画)

同様に、プロジェクト品目に計画品目を指定できます。この場合、計画品目コードはクラスタ、プロジェクト、品目コードの 3 つのセグメントで構成されます。

品目購買データ

マスタデータの品目基準データの一般レベルに、品目および品目データを定義できます。購入手順を実行するには、事前に調達の品目購買データに購買関連品目データも指定します。

品目グループの品目購買データとデフォルト品目購買データの指定

品目 (tcibd0501m000) セッションで品目を指定した後、品目 - 購買 (tdipu0101m000) セッションで購買固有の品目データを指定できます。購買品目を指定する際には、情報を多く入力する必要があります。必要なデータ入力の量を減らすために、品目 - 購買デフォルト (tdipu0102m000) セッションで、品目グループに属している購買品目のデフォルトを指定できます。

品目購買デフォルトおよび購買品目を指定するには

1. 品目グループ (tcmcs0123m000) セッションで品目グループを指定します。
2. 品目 - デフォルト (tcibd0102m000) セッションで、品目 - 一般デフォルトを指定します。ここでは、品目グループ (tcmcs0123m000) セッションですでに定義した [品目グループ] を入力する必要があります。
3. 品目 - デフォルト (tcibd0102m000) セッションで [品目購買データ] をクリックします。品目 - 購買デフォルト (tdipu0102m000) セッションが開始されます。このセッションでは、[品目タイプ] と [品目グループ] の組合せについて品目 - 購買デフォルトを指定できます。

4. 品目 (tcibd0501m000) セッションで、すでに品目 - デフォルト (tcibd0102m000) セッションで定義済みの [品目タイプ] および [品目グループ] の組合せの品目を指定します。品目 - デフォルト (tcibd0102m000) セッションのデフォルト値が品目 (tcibd0501m000) セッションに挿入されます。
5. 品目 (tcibd0501m000) セッションで、[品目購買データ] をクリックします。品目 - 購買 (tdipu0101m000) セッションが開始されます。このセッションでは、品目 (tcibd0501m000) セッションで作成した品目の購買データを入力できます。品目 - 購買デフォルト (tdipu0102m000) セッションのデフォルト値が品目 - 購買 (tdipu0101m000) セッションに挿入されます。

備考

購買品目の処理を生成するには、品目 - オーダ処理 (tcibd2100m000) セッションでオーダ処理関連の品目データを指定し、品目 - 原価計算 (ticpr0107m000) セッションで原価計算関連の品目データを計算する必要があります。

購買品目 360

品目 - 購買 (tdipu0101m000) セッションで [購買担当] フィールドに入力した場合、購買品目 360 (tdipu0103m000) セッションを使用して、特定の購買担当に関連するすべての品目を表示できます。購買品目 360 (tdipu0103m000) セッションでは、品目データの概要をすばやく確認したり、品目関連データと購買関連データを簡単に入手したりすることができます。

購買品目 360 (tdipu0103m000) セッションは次の目的で使用できます。

- 品目関連データを表示、メンテナンス、および作成します。
- 購買オーダ、購買契約、見積依頼、購買スケジュールなど、品目の購買データを表示、メンテナンス、および作成する
- 複数の品目関連タスクを実行します。
- 複数の品目関連グラフを表示する。次を参照してください。購買品目グラフ

品目 - 購買取引先データの指定

購買取引先固有の情報を品目ごとに指定するには、品目 - 購買取引先 (tdipu0110m000) セッションを使用します。この情報を使用して、購買取引先からオーダを購買および入庫する方法を決定できます。品目 - 購買取引先 (tdipu0110m000) セッションには、購買オーダに必要な購買取引先のデフォルトのロジスティックデータがあります。購買取引先が内部取引先の場合、品目 - 購買取引先 (tdipu0110m000) セッションには、購買スケジュールと購買発行のデフォルトロジスティックデータも保持されます。購買取引先が外部取引先の場合、購買スケジュールまたは購買発行のロジスティックデータは購買契約ラインロジスティックデータ (tdpur3102m000) セッションから取得されます。

発注先 360

発注先 360 (tdsmi1501m000) セッションを使用すると、購買元取引先関連のデータの表示、メンテナンス、および作成、さらに特定の購買担当に関するすべての取引先の表示ができます。発注先 360 (tdsmi1501m000) セッションでは、購買元取引先情報の概要が表示され、購買元取引先関連のデータを簡単に確認できます。

ソーシング

各種取引先から同一品目が納入される場合、品目 - 購買取引先 (tdipu0110m000) セッションで優先順位およびソーシング率を取引先に割り当てることができます。詳細は、次の情報を参照してください: ソーシング

承認済発注先リスト

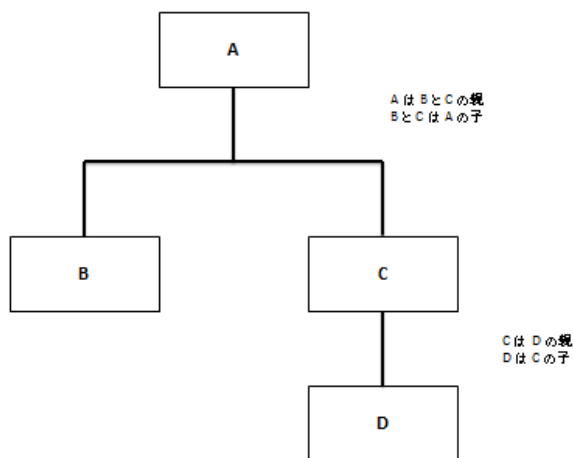
承認済発注先リスト (tdipu0110m200) セッションを使用して、承認済発注先リストを表示できます。

品目 - 購買 (tdipu0601m000) セッションの [承認済販売業者からの購買のみ] チェックボックスで、品目の納入を承認する発注先を指定します。

品目構造

部品表 (tibom1110m000)

企業計画およびジョブショップ管理は、製造計画に品目構造とそれらの品目の工順を使用します。部品表 (BOM) と呼ばれる品目構造は、製造環境における品目間の関係を記述したものです。互いに関連する品目は親子関係にあります。



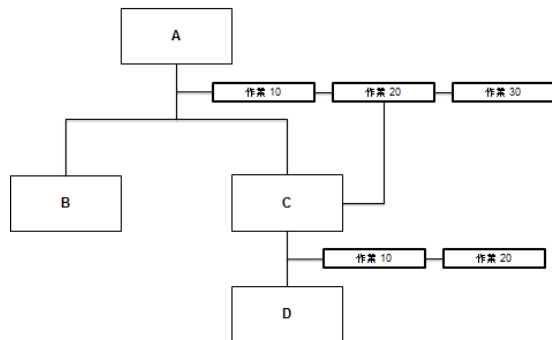
親子関係のそれぞれに、仕損割合、仕損数量、正味数量といった、部品表ラインに定義される特定の特徴があります。

企業計画は部品表を以下の目的に使用します。

- オーダ計画に使用する資材の分解
- カスタマイズ品目 (標準品目から派生するカスタマイズ品目) (受注製造 (MTO)) 用の部品表の生成
- 部品表に基づいてクリティカル部品表 (BCM) が生成されます。企業計画は、マスタ計画および計画範囲全体での有効在庫 (ATP) チェックにクリティカル部品表を使用して資材を分解します。

品目 - 工順 (tirou1101m000)

1つの品目に1つの工順を割り当て、1つの工順に1つ以上の工順作業を割り当てることができます。各作業は、特定のワークセンタにおける処理ステップを記述したものです。



作業により、処理時間と待機時間、ならびに仕損や歩留りなどが定義されます。企業計画は工順を使用して以下を行います。

- 計画製造オーダーの作業の生成。すべての作業に基づいてオーダーの計画開始日/終了日が決定されます。
- プロジェクト工順の生成。
- クリティカル能力資源表 (BCC) のベースとして。クリティカル能力資源表は、マスタ計画および資源の確約可能在庫 (CTP) に使用されます。オーダー計画範囲内の確約可能在庫チェックにも使用されます。

上の例では、品目 A に 3 作業の工順が割り当てられています。

作業 10 が最初の作業、30 が最後の作業です。

品目 C には 2 つの作業があります。

注意

資材は、作業 20 にリンクしている特定の工順作業 (この例では C) で利用可能になることが部品表ラインで定義されている場合を除き、常に工順の最初で計画されます。

このリンクは、部品表ラインの [作業] フィールドで定義されます。

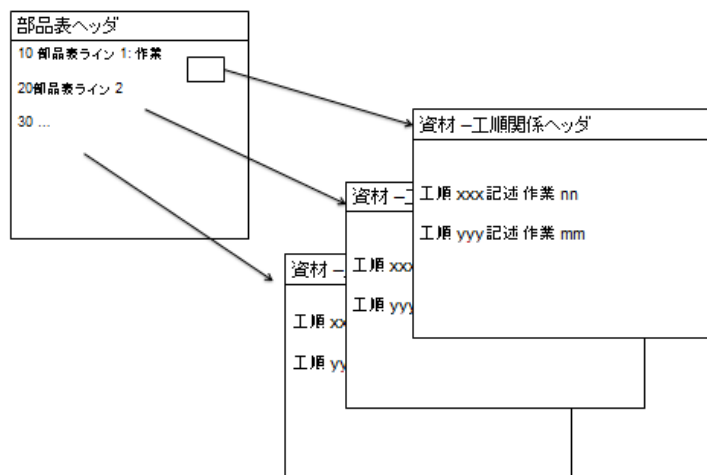
[作業] フィールドが空白の場合、資材は工順の開始時点で計画されます。この例では作業 10 の開始時点です。

部品表ライン - 資材-工順関係 (tibom0140m000)

資材 - 工順関係は、「部品表ラインに基づく作業」コンセプトの延長線上にあるものです。資材と作業のリンクは、(数量依存の) 工順の選択に依存します。

以下の画面は、部品表ラインに使用される資材 - 工順関係を示しています。ヘッダにその品目と、部品表内におけるその部品表ラインの位置が表示されます。各ライン (レコード) は、この部品表ライン品目 (構成要素) と、各工順の作業との関係を定義しています。

この関係を使用して、部品表ラインを特定の工順の作業にリンクできます。



例

この例にある関係は、オーダが工順 001 で計画される場合は作業 20 の開始時点で、オーダが工順 002 から計画される場合は作業 40 の開始時点でこの部品表ラインが必要となることを示しています。

このコンセプトはジョブショップ管理ではサポートされていますが、企業計画ではサポートされていません。したがって、この機能は計画オーダには使用できません。この機能はマニュアル入力された製造オーダのみに使用できます。

以下の状況で問題が生じることはありません。

- 資材 - 工順関係が定義されていない。
- 資材 - 工順関係が定義されているものの、作業が部品表ラインで指定されているため、資材 - 工順関係が無効になる。
- 資材 - 工順関係が定義されているものの、予定より早く到着する資材を受け入れる。資材の到着が早すぎることはあっても、遅すぎるという状況は発生し得ません。

供給チェーンモデリング

供給関係 (cprpd7130m000)

供給関係は、物流所要量計画 (DRP) の物流構造をモデリングしたものです。供給関係は、場所間の関係ではなく、品目関係を計画するためのモデルです。場所は計画品目のクラスタコードとデフォルト倉庫によって定義されます。

供給関係は以下のレベルで定義できます。

- 計画品目
- クラスタ
- 品目グループ

企業計画は、供給関係が見つかるまで各レベルで供給関係を検索します (最初に計画品目レベル、次にクラスタレベル、という順に)。

確約可能在庫 (CTP) チェックも供給関係を使用して実行されますが、実行されるのは 1 レベルのみです。

以下の表では、このセッションでのパラメータ設定のいくつかを説明します。

供給関係	
フィールド	説明
供給サイト	供給品目が定義されているサイトを定義します。複数のサイトにわたる供給関係を定義できます。
発効日と有効期限	オーダ生成時に供給関係を選択できるかどうかを指定します。
供給原価	企業計画は、供給戦略が品目に定義されている場合に、供給原価を使用して発注先を選択します。供給ソースを最低原価で決定できます。
割合	このフィールドは、供給引当の相対割合として使用されます。
優先順位	このフィールドは、供給戦略で定義されている優先順位ルールに基づいて供給ソースをオーダするために使用されます。
供給資源、供給リードタイム、運送業者	これらのフィールドはリードタイムの計算に使用されます。
供給リードタイム	供給倉庫から受取倉庫までの輸送時間。
運送業者	供給品目と受取品目の間で商品を移動させる運送業者です。
最小量	このフィールドは、計画供給をこの供給ソースに割り当てるプロセスで使用されます。
最大量	最大量は絶対的な制約です。供給関係に対して生成される供給の合計量が最大量に達すると、それ以上の供給は生成されません。 この制約は時間単位には関連付けられませんが、発効日から有効期限までの全期間に対して有効となります (供給の合計量 = 計画オーダ、工場間

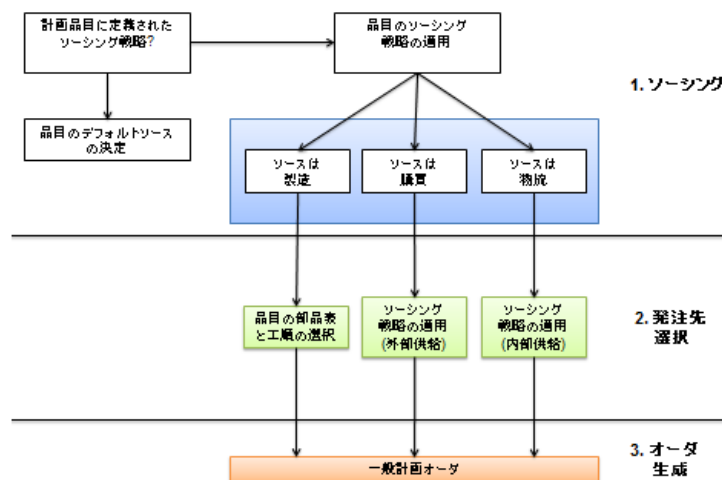
	の計画物流オーダー、調整オーダー (サイクル数)、転送オーダー、組立オーダー)。
最大遅延日数	供給関係を計画終了日の前または後に選択できる日数。

供給チェーン戦略

供給チェーン戦略は以下の 2 つのレイヤで構成されます。

- ソーシング戦略
ソーシング戦略は、企業計画が供給ソースとして製造、購買、物流をのいずれかを選ぶ方法を定義します。ソーシング戦略によって、どのタイプの供給でどのように需要が満たされるのが決定されます。
- 供給戦略
供給戦略は、ソースごとに、そのソース内での発注先の選択を定義します。たとえば、企業計画がソーシング戦略に基づいて計画購買オーダーを生成するとき、供給戦略によってどの発注先が選択されるのが決定されます。

したがって、ソーシングと発注先選択のプロセスは 2 ステップ方式です。



ソーシング戦略

このトピックには、ソーシング戦略の機能の概要が含まれます。

3 種類の供給ソース

[企業計画] は 3 種類の供給ソースと連動します。

- [ジョブショップ] – 製造施設で製品を製造します。
- [購買] – 取引先から製品を入手します。
- [物流] – 自社の別の部門または系列会社から製品を入手します。

デフォルト供給ソース

品目 - 計画 (cprpd1100m000) セッションで品目ごとにデフォルト供給ソースを定義することができます。恒久的に同一の供給ソースを使用する場合は、これで十分です。このデフォルト供給ソースは、品目 (tcibd0501m000) セッションの [品目タイプ] フィールドで指定した値とは無関係です。

注意

ソーシング戦略は、デフォルト供給ソースよりも優先されます。該当するソーシング戦略が存在する場合、[企業計画] ではそのソーシング戦略を使用し、デフォルトソースは無視します。

ソーシング戦略

品目で複数の供給ソースを使用したい場合、または 1 つの特定シナリオでデフォルトソース以外を使用したい場合は、関係品目についてソーシング戦略を定義してください。

ソーシング戦略は、ソーシング戦略 (cprpd7110m000) セッションで定義できます。

シナリオと有効期間

ソーシング戦略は、特定のシナリオに対して有効です。

ソーシング戦略は、特定の期間に対して有効です。ソーシング戦略の発効日と失効日を入力して、ソーシング戦略をその期間有効と決めることができます。

クラスタおよび品目グループに対するソーシング戦略

ソーシング戦略を計画品目に直接リンクさせる、またはソーシング戦略をクラスタまたは品目グループを介して間接的にリンクさせることができます。

詳細については、次を参照してください: ソーシング戦略を検索するには

有効化構成

また、有効化構成ソーシング戦略を定義できます。これは、ソーシング戦略に例外をリンクすることを意味します。このように、特定期間について、標準のソーシング戦略からの (小さな) 偏差をモデル化できます。

有効化構成についての詳細は、企業計画での有効化構成を参照してください。

ソース引当ルール

ソーシング戦略を定義する場合、以下の中から選択する必要があります。

- [割合]
- [優先順位]

ソース引当ルール: 割合

ソース引当ルールが [割合] の場合、ソーシング戦略 (cprpd7110m000) セッションで各ソースに対する割合を定義します。

マスタ基準計画では、LN は各計画期間に対するこれらの割合にしたがって供給計画を配分します。

オーダー基準計画では、割合の使用方法が 2 とおりあります。

- オーダ計画の生成 (cprrp1210m000) セッションまたはオーダー計画の生成 (品目) (cprrp1220m000) セッションで [需要別複数ソースを許可] チェックボックスをオンにすると、LN では割合を使用して単一の所要を各種ソースに分割します。
- [需要別複数ソースを許可] チェックボックスをオフにすると、LN はできるだけ割合に近づけようとしますが、各所要を 1 つのソースに割り当てます。つまり、LN は計画オーダーを分割しません。

オーダー計画におけるソース引当についての詳細は、例: オーダ計画でのソース引当を参照してください。

ソース引当ルール: 優先順位

ソース引当ルールが [優先順位] の場合、各ソースの優先度を定義します。優先順位のソース引当ルールは、オーダー基準計画にのみ適用されます。マスタ基準計画では、ソース引当ルール優先順位はソース引当ルール [割合] として解釈されます。

オーダー計画におけるソース引当ルール [優先順位] についての詳細は、オンラインマニュアルトピック例: オーダ計画でのソース引当を参照してください。

注意

LN が最初にソース [購買] を選択することにより所要に対応しようとして、そのソースが所要を満たせない場合、次のステップは、計画品目の発注先が単一ソース発注先かどうかにより異なります。

この動作は、品目 - 購買取引先 (tdipu0110m000) セッションの [優先] フィールドの設定に依存します。

- [優先] が [固定] になっている場合
発注先が必要な需要を満たせない場合、LN はソーシング戦略から、より低い優先順位の供給ソース ([ジョブショップ] または [物流]) を使用します。
- [優先] が [優先] になっている場合
発注先が必要な需要を満たせない場合、LN は発注先フィールドが空白のまま、計画製造オーダーを生成します。

最小量および最大量

供給ソースごとに、最小量および最大量の定義と、その制限の適用期間の指定ができます。

特定のソースに対するオーダー量が最大量を超える場合 (指定した期間内で)、LN はその量の一部を別のソースに移すことができます。

特定のソースに対するオーダー量が最小量を下回る場合、LN は所要数量からより大きな部分を使用して、そのソースに対する計画オーダーを生成できます。それにより、他のソースに対する合計オーダー数量が削減されます。

注意

最小量フィールドを、品目データ内に定義されている最小オーダー数量と混同しないでください。LN では、オーダー数量が最小量以下であったとしても、必要な数量を超えるオーダーは作成されません。

ソーシング戦略の定義

ソーシング戦略は次の集約レベルで指定できます。

- クラスタレベル
- 品目グループレベル
- 品目レベル (ソーシング戦略を検索するにはを参照)

クラスタレベルでソーシング戦略を入力するには、次の手順を使用します。

1. [クラスタ] フィールドにクラスタを入力します。
2. [品目グループ] フィールドは空のままにします。
3. [品目] フィールドは空白のままにします。

品目グループレベルでソーシング戦略を入力するには、次の手順を使用します。

1. 必要に応じて、[クラスタ] フィールドにクラスタを入力します。
2. [品目グループ] フィールドに品目グループを入力します。
3. [計画品目] フィールドは空にしておきます。

ソーシング戦略 (cprpd7110m000) 詳細セッションで [例外] ボタンをクリックすると、例外 (tcuef0105m000) セッションにズームして、供給ソースのデフォルト設定から外れる例外を定義できます。

供給元: 製造、購買、または物流

ソーシングとは、需要を満たすために計画品目の供給ソースを決定する方法です。ソーシングは2つのレベルで定義されます。

- ソーシング戦略
品目が製造されるのか、または購買、分配されるのかを決定します。ソーシング戦略の定義は必須ではありません。ソーシング戦略が定義されていない場合、品目 - 計画 (cprpd1100m000) データのデフォルトソースが取得されます。

- **供給戦略**

購買と分配用を選択される発注先と倉庫を指定するルールを決定します。製造については、2 番目のレベルはビジネスオブジェクトのソーシングには適用されません。供給戦略は必須ではありません。供給戦略が定義されていない場合、発注先は品目-購買取引先セッションのプロパティに基づいて選択されます。その後、供給関係セッションの優先順位に基づいて倉庫が選択されます。

クラスタ間の供給関係を定義することができます。これらの関係は、倉庫間で考える関係を表します。企業計画は、クラスタを、常にそのクラスタ内のデフォルト倉庫に変換します。供給関係は供給戦略に基づいて選択されます。つまり、適用される供給戦略がなければ、供給関係の優先順位に基づきます。

3 種類の供給ソース

企業計画は 3 種類の供給ソースと連動します。

- [ジョブショップ] - 製造施設で製品を製造します。
- [購買] - 取引先から製品を入手します。
- [物流] - 自社の別の部門または関連会社から製品を入手します。

以下の方法を使用して、計画品目の供給元のソースを決定できます。

- 計画品目のデフォルト供給ソース
- ソーシング戦略

計画品目に有効なソーシング戦略がある場合、LN は計画品目のデフォルトの供給ソースを無視します。

デフォルト供給ソース

単独の永続的な供給ソースが必要であればデフォルトの供給ソースで十分なので、ソーシング戦略は必要ありません。

有効なソーシング戦略が存在しない場合、LN は品目 - 計画 (cprpd1100m000) セッションの [デフォルト供給ソース] フィールドの値をチェックします。

このデフォルト供給ソースは、品目 (tcibd0501m000) セッションの [品目タイプ] フィールドで指定した値とは無関係です。

[デフォルト供給ソース] フィールドでは次の値が使用可能です。

- [物流]
デフォルト供給ソースが [物流] の場合、企業計画は計画物流オーダーのみ生成します。
- [品目ソース]
ただし、デフォルト供給ソースが [品目ソース] に設定されており、企業計画が 日付有効供給ソース (tcibd0510m000) セッションを検索する場合、オーダー終了日に対して指定された品目タイプが使用されます。
デフォルト供給ソースが [品目ソース] に設定されており、オーダー終了日に対して有効な日付有効性ラインが存在しない場合、LN は品目 (tcibd0501m000) セッションで定義された品目タイプに依存します。

日付有効品目データを使用し、品目の 品目タイプ を 製造品目 から 購買品目 に、またはその反対に、定義された日に変更できます。

ソーシング戦略

ソーシング戦略を使用すると、複数の供給ソースの組合せを同時に、または順番に使用することができます。

例

所要量の 60% が製造オーダーによって供給され、30% が物流オーダーによって供給され、10% が購買オーダーによって供給されると指定できます。

また、LN で製造オーダーの所要量をカバーするよう試行してから、それが不可能であれば購買オーダーを使用するよう指定することもできます。

これまでは外部発注先から購入していた構成要素を製造することにしたとします。その場合は、LN でたとえば 5 月 15 日までは購買オーダーを生成し、その日以降は製造オーダーを生成するよう指定することもできます。

ソーシング戦略の使用

マスタ計画または計画オーダーを生成すると、LN はまず ソーシング戦略 (cprpd7110m000) セッションで有効な ソーシング戦略 を検索します。

ソーシング戦略は、計画品目 に直接リンクすることも、クラスタ または 品目グループ を介して間接的にソーシング戦略をリンクすることもできます。

LN が有効なソーシング戦略を見つけられなかった場合、LN はデフォルトの供給ソースを使用します。

詳細については、ソーシング戦略 (ページ 18) を参照してください。

注意

日付有効性定義が存在する計画品目に対してソーシング戦略を定義すると、LN はシグナルを生成します。

関連セッションとフィールド

以下のセッションとフィールドで日付有効性を設定できます。

- 品目 (tcibd0501m000)
フィールド: [品目タイプ]
- 品目 - 計画 (cprpd1100m000)
フィールド: [デフォルト供給ソース] (値: [品目ソース] または [物流])
- 日付有効供給ソース (tcibd0510m000)
すべてのフィールド
- ソーシング戦略 (cprpd7110m000)
フィールド: [ジョブショップ]、[購買]、[物流]

クラスタ化品目の供給ソース

クラスタ化計画品目は、物流、購買、製造によって供給できます。マルチソーシング戦略を定義することもできます。

物流

デフォルト供給ソースが [物流] の場合、クラスタ化計画品目は他のクラスタ内の倉庫から補充されます。物流計画 (DRP) を設定するには、供給関係 (cprpd7130m000) セッションでクラスタ間 (倉庫間) の供給関係を定義する必要があります。DRP 機能はこれらの関係を使用して、そのクラスタを供給するための計画物流オーダーを生成します。

注意

供給関係は倉庫レベルではなく、クラスタレベルで定義してください。企業計画 は常に、クラスタ化品目でも非クラスタ化品目でも同じデフォルト倉庫を使用して計画を実行するため、倉庫レベルで供給関係を定義する必要はありません。

購買

実際の供給ソースが [購買] の場合は、外部発注先がクラスタ化計画品目を供給します。これを地域購買と呼びます。

購買計画を設定するには、以下のセッションを使用します。

- 品目 - 購買 (tdipu0101m000)
- 品目 - 購買取引先 (tdipu0110m000)
- 供給戦略 (cprpd7120m000)

クラスタセグメントは企業計画でのみ使用できます。したがって、すべてのクラスタ化計画品目が同一の購買データおよび品目購買取引先情報を使用します。

供給戦略はオプションです。クラスタごとに供給戦略を定義できます。供給戦略によって、計画実行中の発注先選択優先順位が決定されます。

製造

デフォルト供給ソースを [ジョブショップ] に設定した場合、製造オーダーがクラスタ化計画品目を供給します。製造計画を設定する上で、以下のセッションが最も重要なセッションとなります。

1. 部品表 (tibom1110m000)
2. 工順作業 (tirou1102m000)
3. クリティカル部品表 (cprpd3120m000)
4. クリティカル能力資源表 (cprpd3130m000)

クラスタセグメントは企業計画でのみ使用されます。したがって、クラスタ化計画品目は非クラスタ製造品目の部品表、工順、クリティカル部品表、クリティカル能力資源表 (BCC) を使用します。オーダー範囲内では、計画工順は部品表と工順を使用して、資材要件および作業を分解します。計画範囲内では、計画工順はクリティカル部品表とクリティカル能力資源表を使用して、資材要件および作業を分解します。

マルチソーシング

クラスタ化計画品目は、物流、購買、製造の組合せなど、複数の供給ソースを持つこともできます。マルチソーシングはソーシング戦略を使用して定義できます。クラスタ化計画品目ごとに個別のソーシング戦略を設定できます。

ソーシング戦略を設定するには、ソーシング戦略 (cprpd7110m000) セッションを使用します。

物流ソーシングの場合のみ、クラスタ固有の物流関係を設定できます。購買および製造には設定できません。したがって計画プロセスでは、非クラスタ化品目とクラスタ化品目のどちらを計画する場合も、常に同じ品目購買取引先情報と部品表および工順が使用されます。クラスタごとに詳細なソーシング戦略を設定できます。

外部発注先を選択するには

企業計画のオーダ基準購買計画は、購買オーダの生成および計画を扱います。

購買計画は代替発注先から選択し、制約およびルールに基づいてこれらの発注先に数量を分配します。

これらの制約とルールを次のセッションで指定することができます。

- 品目 - 購買取引先 (tdipu0110m000) (共通情報)
- 供給戦略 (cprpd7120m000) (企業計画)

購買計画は供給タイプが [購買] の供給戦略を使用します。

注意

計画品目に有効な供給戦略がない場合、LN はデフォルトで以下の値を使用します。

- 優先順位規則: [優先順位]
- 引当ルール: [割合]

有効化構成

LN が発注先を検索する場合、LN は購買元取引先およびソーシング戦略にリンクされた例外を考慮します。これらの例外を使用して、LN が発注先ソースを選択する方法を2つの方法で操作できます。

- 品目 - 購買取引先 (tdipu0110m000) セッションで購買元取引先に例外をリンクします
- ソーシング戦略 (cprpd7110m000) セッションでソーシング戦略に例外をリンクします

有効化構成については、企業計画での有効化構成を参照してください。

発注先が納入できない場合

LN が特定の時点で所要に対して有効な発注先を検索できない場合は、発注先が空白の購買オーダを作成してシグナルを生成します。ある発注先を単一のソース発注先として指定し、この発注先が特定の時点で需要を納入できない場合、LN は購買オーダを生成せず、定義済のソーシング戦略に従って物流または購買の供給ソースを使用して需要を満たすことを試みます。品目に対してソーシング戦略を指定していない場合、LN はオーダを作成せず、シグナルを生成します。

手順

オーダー基準供給計画中に、各所要計画品目に対して以下のステップが実行されます。

1. 所要量を決定します
2. 供給のソース (製造、購買、物流) を決定します
3. 優先順位の順に発注先を整理します (LN は [優先順位] フィールドの値のセットを考慮します)
4. 供給戦略 (cprpd7120m000) セッションの [引当ルール] フィールドの値セットによって発注先別の量を決定し、ロットサイズの制約および能力の制約を決定します
5. 納期と発注日を発注先別に決定します

ステップ 1: 所要量を決定します

マスタ計画エンジンまたはオーダー計画エンジンによって、所要量と所要日を決定します。

ステップ 2: 供給のソースを決定します

LN は、有効なソーシング戦略または計画品目のデフォルトソースに基づいて、購買によってどれだけの所要がカバーされるかを決定します。供給元: 製造、購買、または物流 (ページ 21) を参照してください。

ステップ 3: 優先順に発注先を整理します

LN は、所要日に有効となっている優先順位規則に従って発注先を整理します。供給戦略 (cprpd7120m000) セッションで優先順位規則を定義することができます。

ステップ 4: 納期と発注日を発注先別に決定します

LN は各種カレンダーを使用して、終了日 (納入日) および開始日 (オーダー日) を決定します。供給リードタイムを計算するにはを参照してください。

ステップ 5: 発注先別に数量を決定します

LN は、ステップ 3 で決定した順序で発注先に所要数量を分配します。

詳細は購買オーダー数量を計算するにはを参照してください。

この処理は複数のフェーズで実行されます。1つのフェーズを実行後にすべての所要量をカバーしきれなかった場合、LN は次のフェーズに進みます。各フェーズにおいて、LN は引当ルールに基づいて量を計画します。

適切なメニュー

コマンドは、[表示]、[参照]、および [アクション] メニューに分散されているか、ボタンとして表示されます。旧リリースの LN および Web UI では、これらのコマンドは [特定] メニューに配置されます。

引当ルール

企業計画が 1 つの発注先または供給クラスタから供給されるべき数量を決定する方法を定義する規則(たとえば、合計供給または発注先の供給能力の割合)

有効在庫

ある品目の、ある日付に顧客に確約できる数量

LN では、有効在庫 (ATP) は、確約可能在庫 (CTP) と呼ばれる、より高度なオーダ確約技術の構成要素となっています。確約可能在庫は、品目の有効在庫が不十分な場合に当初計画より増産する可能性も考慮する点で、有効在庫より高度な機能を備えています。

標準的な有効在庫機能のほかに、チャンネル有効在庫も使用されます。この用語は、特定の販売チャンネルについて販売制約を考慮した、そのチャンネルについての品目の調達可能性を指しています。

LN で使用されるこれ以外のすべてのタイプのオーダ確約機能については、確約可能在庫という用語を使用します。

頭字語: 有効在庫

略字: 有効在庫

有効在庫

次を参照してください: 有効在庫 (ページ 27)

有効在庫

次を参照してください: 有効在庫 (ページ 27)

有効在庫

この計算により、将来の特定の時点において利用可能な (プロジェクトにおいて販売または消費する) 製品の数量を決定します。

確約可能在庫能力チェック

指定日に顧客オーダーを納入するための、品目の増産に必要な能力の調達可能性のチェック

オーダー範囲に応じて、品目のクリティカル能力資源表の資源または品目の工順のワークセンタに対して、確約可能在庫能力チェックが実行されます。確約可能在庫のクリティカルとして定義された資源のみがチェックされます。

チャネル有効在庫

特定の販売チャネルに属する顧客に対して確約できる品目数量

チャネル有効在庫は、そのチャネルの許容需要によって決定されます。1つのチャネル有効在庫期間の総許容需要は、該当する期間のそのチャネル有効在庫の初期値となります。このチャネル、およびこのチャネル有効在庫期間で新しく需要が記録されるたびに、この需要分がチャネル有効在庫から差し引かれます。

チャネル有効在庫は特定のチャネルに向けられる需要を制限し、他の重要な顧客に供給できるだけの余力を確保しておくために使用します。

クラスタ

企業計画で、供給関係により互いに接続されている倉庫の分類

クラスタは、1つまたは複数の倉庫を含む、地理的な場所を表します。企業計画では、これらの倉庫を、計画目的で1つの単位とみなします。

クラスタ化品目

特定の倉庫クラスタにリンクされている、企業計画の計画品目。クラスタ化品目の在庫データは、その特定のクラスタに関連する数量のみを表します。

クラスタ化品目の品目コードで、クラスタセグメントにそのクラスタのコードが含まれています。

クラスタ化品目を使用して、サイト内またはサイト間の物流計画モデルを作成することができます。

企業計画の計画方法では、クラスタのすべての倉庫内のクラスタ化品目の合計在庫を使用します。クラスタに含まれる倉庫は1つでもかまいません。

構成確約可能在庫チェック

指定日に顧客オーダーを納入するための、品目の増産に必要な構成要素の調達可能性のチェック

該当する構成要素の確約可能在庫パラメータに基づいて、構成要素品目自体に対して実行されるチェック

オーダー範囲に応じて、クリティカル部品表の構成要素または部品表に対して、構成確約可能在庫チェックが行われます。確約可能在庫のクリティカルとして定義された構成要素のみがチェックされます。

マスタ基準計画

すべての計画データを、既定の長さを持つタイムバケット内に累計する計画方式

マスタ計画では、すべての需要、供給、および在庫データがこれらのタイムバケットに基づいて取り扱われ、マスタ計画に保存されます。

マスタ計画では、供給は供給計画の形で計画されます。この供給計画は、需要予測、実際のオーダー、およびその他の情報に基づいて計算されます。製造計画では、この計画方法は、品目のクリティカル部品表およびクリティカル能力資源表に記録されたクリティカル所要量のみを考慮します。

注意

企業計画では、すべての供給をオーダー計画で計画した場合でも、品目のマスタ計画をメンテナンスすることができます。

非クラスタ化品目

特定の倉庫クラスタを参照せずに計画される、企業計画の計画品目

非クラスタ化品目の品目コード内では、クラスタセグメントは空白です。

非クラスタ化品目と同じ品目基準セグメントをもつクラスタ化品目が存在する場合、それらの品目は物理的には同じですが、在庫データは異なります(たとえば、手持数量)。非クラスタ化品目の在庫データには、特定のクラスタに関連する数量は含まれません。クラスタ化品目を使用して、サイト内またはサイト間の物流計画モデルを作成することができます。

LNをクラスタセグメントなしでインストールした場合、計画品目はすべて非クラスタ化品目になります。

オーダー基準計画

計画データをオーダーの形式で取り扱う計画方式

オーダー計画では、供給は計画オーダーの形で計画されます。個々の計画オーダーの開始日と終了日が考慮されます。製造計画では、この方法により、品目のBOMおよび工順に記録されたすべての資材所要量と能力所要量が考慮されます。

注意

企業計画では、すべての供給をオーダー計画で計画した場合でも、品目のマスタ計画をメンテナンスすることができます。

計画物流オーダー

内部発注先または姉妹会社が品目の数量を納入する企業計画でのオーダー

計画製造オーダー

ある品目の特定数量を製造するための、企業計画の計画オーダー

優先順位規則

企業計画が発注先を選ぶ基準とするもの。(たとえば、原価、供給時間、発注先の優先順位など)

シナリオ

総合的な計画解決策の識別

各シナリオは、1つの総合的な計画解決策を表していて、品目計画および資源計画のための特定の設定が含まれています。シナリオを使用して、各種の計画オプションを分析および比較し、最適な計画解決策を見つけることができます。たとえば、需要予測やソーシング戦略の変更に利用できます。

シナリオの1つは、実際の計画状況に対応している実際のシナリオです。実際のシナリオから LN の実行レベルへ、計画オーダーと製造計画を転送することのみが可能です。

ソーシング戦略

計画品目を計画供給するために次のソース間でどのように分割するかの戦略

- [ジョブショップ]
- [購買]
- [物流]

ソーシング戦略は、シナリオ内で定義されています。

ソーシング戦略は、クラスタ、品目グループ、および計画品目レベルで定義できます。

供給計画

マスタ計画で計画された合計供給

品目の供給計画は次の要素で構成されます。

- 製造計画
- 購買計画
- 物流計画 (品目マスタ計画で計画物流オーダーとして示されます)

品目マスタ計画では、オーダー計画で計画された供給 (計画オーダー) も考慮されます。ただし、このタイプの供給は、品目の供給計画の一部ではありません。つまり、供給計画は、通常、品目のオーダー計画範囲外にのみ存在します。

供給戦略

計画品目の供給を複数の発注先に分割する方法

供給戦略により、優先順位規則と引当ルールが定義されます。これにより、計画エンジンはどの発注先を使用するかを決定します。次のものについて、個別の供給戦略があります。

- 外部発注先 (計画購買オーダー)
- 内部発注先 (計画物流オーダー)

供給戦略は、クラスタ、品目グループ、および計画品目レベルで定義できます。

計画品目

オーダーシステムが [計画] の品目

これらの品目の製造、物流、または購買は、需要予測または实际需要に基づいて企業計画で計画されます。

次の方法によって、品目を計画できます。

- マスタ準拠計画。基準生産計画手法と同じです。
- オーダ準拠計画。資材所要量計画手法と同じです。
- マスタ準拠計画とオーダ準拠計画の組合せ

計画品目は次のいずれかです。

- 実際の製造品目または購買品目
- 製品ファミリ
- 基本モデル (一般品目の定義済製品バリエーション)

類似の計画品目またはファミリのグループは製品ファミリと呼ばれます。個々の品目に対する計画よりも汎用的な計画にするために、品目が統合されます。品目コードのクラスタセグメントによって表示されるコードで、計画品目が配分計画に使用されるクラスタ品目であることが示されます。

購買品目

一般に外部ソースから取得される品目。部品表および工順は購買品目にリンクできます。

品目タイプ

品目の分類。たとえば、購買品目、製造品目または設備品目であるかどうかを識別できます。品目のタイプに応じて、特定の機能のみがこの品目に適用されます。

例外

有効な品目の標準構成の偏差。たとえば、ある有効化コードに特定の部品表ラインまたは工順作業を使用するかどうかを例外として指定できます。例外は通常、顧客の要望や技術的なアップグレードなどに対応するために作成します。

工順

品目を製造するために必要な作業の順序

作業ごとに、段取時間やサイクル時間に関する情報に加え、タスク、機械、ワークセンタが指定されます。

発注先

次を参照してください: 購買元取引先 (ページ 32)

優先順位

発注先について特定の評価を追加できるようにするオプション。優先順位が定義された場合、品目/発注先の組合せは優先順位の降順にソートされます。

ソーシング率

オーダが発注先の間でどのように分配されるかを計算するために使用する割合

系列会社

自社のロジスティック会社の取引先となる別のロジスティック会社。取引先系列会社について、販売先の役割および購買元の役割を定義する必要があります。

たとえば、系列会社は外国にある自社の系列企業やサイトを意味します。

購買元取引先

商品またはサービスのオーダ先の取引先。これは通常発注先の販売部署になります。この定義には、デフォルト価格と値引合意、購買オーダのデフォルト、受渡条件、関連する出荷元と請求元の取引先が含まれます。

同義語: 発注先

品目グループ

類似の特徴を持った品目グループ。各品目は特定の品目グループに属しています。品目グループは品目タイプと組み合わせて使用し、品目デフォルトを設定します。

製造品目

完成品および半組立品を製造できる品目。製造品目は、通常、組立で使用される構成要素を記述する部品表と、組立方法を記述する工順に関連しています。製造品目は生産品目とも呼ばれ、購入することができます。

承認済発注先リスト

特定品目の納入が承認済である購買元取引先のリスト

購買担当

関係する購買元取引先の連絡先となる、自社の従業員。購買担当は購買エージェントとも呼ばれます。

部品表 (BOM)

製造品目で使用されるすべての部品、原料、および半組立品のリスト。このリストには、品目の製造に必要な各部品の数量が示されています。部品表は、製造品目のシングルレベルの製品構造を示します。

最小オーダ数量

購買または製造する品目の最小数量。計画オーダが生成される際、購買または製造する品目の数量が最小オーダ数量を下回ることはありません。最小オーダ数量により、この品目の購買または製造数量が少なくなりすぎることを防ぎます。

索引

構造

- 品目データ, 7
- 適切なメニュー, 27
- 定義
 - ソーシング戦略, 21
- コンセプト
 - オーダー計画, 7
- 引当ルール, 27
- 有効在庫, 27, 27
- 確約可能在庫能力チェック, 28
- チャンネル有効在庫, 28
- クラスタ, 28
 - 企業計画, 9
- クラスタ化品目, 28
 - クラスタ化品目の供給ソース, 24
- 構成確約可能在庫チェック, 28
- マスタ基準計画, 29
- 非クラスタ化品目, 29
- オーダー基準計画, 29
- 計画物流オーダー, 29
- 計画製造オーダー, 29
- 優先順位規則, 29
- シナリオ, 8, 30
- ソーシング戦略, 18, 30
 - 定義, 21
- 供給計画, 30
- 供給戦略, 30
- 供給関係
 - 供給チェーンモデリング, 16
- 計画品目, 31
 - クラスタ, 11
- 供給ソース
 - クラスタ化品目, 24
 - 選択, 18, 21
- オーダー計画
 - コンセプト, 7
- 品目データ
 - 一般, 9
 - 構造, 7
- 一般
 - 品目データ, 9
- 品目 - オーダ処理 (tcibd2100m000)

- 計画品目, 11
- 購買マスタデータ
 - 購買品目データ, 12
- 購買品目データ, 12
- 購買品目, 31
 - デフォルト, 12
 - 購買データの作成, 12
 - 取引先データの定義, 13
 - 定義, 12
- 品目構造, 14
- 供給チェーンモデリング
 - 供給関係, 16
- 供給チェーン
 - 戦略, 18
- 戦略
 - 供給チェーン, 18
- 供給ソースの選択, 18, 21
- 日付有効性, 21
- 品目タイプ, 21, 31
- 時間依存ソーシング, 21
- ソーシング, 21
- 外部発注先の選択, 25
- 供給, 25
- 例外, 31
- 工順, 31
- 発注先, 32
- 優先順位, 31
- ソーシング率, 32
- 系列会社, 32
- 購買元取引先, 32
- 品目グループ, 32
- 製造品目, 32
- 承認済発注先リスト, 32
- 購買担当, 32
- 部品表 (BOM), 32
- 最小オーダー数量, 32
